

意見交換会質疑応答 2019年7月17日（会場：板山公民館）	
質問1	スーパー等の資源回収について、食品トレイを白色のものだけ回収している場所があるので、色の統一はできないのか。
質問1への回答	スーパー等の資源回収の方法は店舗によって異なります。有色のトレイも回収している店舗もあり、ごみ出し冊子で紹介しています。また、市で収集しているプラスチック製容器包装で出していただければ、色に関係なく回収し資源化しています。
質問2	広域化後のごみ量の目標値510gを達成するためには資源の分別が必要とのことだが、現在どのくらい資源が分別されずにごみに混在しているか教えてください。
質問2への回答	ごみの分析調査をした結果、燃やせるごみの中に約20%、燃やせないごみの中にビンや缶など約75%の資源が混入していました。
質問3	有料化すると不法投棄が増えるのではないかと。また不法投棄されたごみの責任を地主が持つのはおかしい。
質問3への回答	パトロールの実施や監視カメラの設置などの不法投棄対策は強化していきますが、不法投棄されてしまった場合のごみ処理の責任は土地の所有者にあります。
質問4	家庭ごみ有料化後の集合住宅や公園の草刈りのごみはどうなるのか。指定袋に入れる必要はあるのか。
質問4への回答	ボランティアごみは無料で受け入れる予定ですが、ごみステーションへ出す場合の具体的な方法は決まっていないため、検討したうえで改めて周知していきます。
質問5	燃やせるごみの中で、生ごみとその他を分けて回収し、生ごみを堆肥化する予定はありますか。
質問5への回答	現在のところ、生ごみの分別回収や堆肥化の予定はありません。
質問6	自治区の集団資源回収では回収日などの制限があり効率が悪いと、公共資源回収ステーションがあると助かるが、自治区への報酬が減るため兼ね合いはとれていますか。
質問6への回答	できるだけ地域の集団資源回収に協力いただくよう案内していますが、勤務時間の都合上地域の集団資源回収に出せない人などに向けて公共資源回収を実施してまいります。
質問7	地域の集団資源回収が減ってきていることはどのように考えているか。
質問7への回答	実際にこの10年で回収量は半分以下になっていますが、新聞や雑誌の購読数の減少や、民間の無料回収拠点の増加等が理由と考えています。半田市以外でも資源回収量は減少傾向にあります。
質問8	半田市はごみ量県内42位ですが、各市町の特徴は。
質問8への回答	これをやったからごみが減るといようなはっきりした理由はありませんが、有料化を実施している市町村はごみ量が少ない傾向があります。また、市町村それぞれで分別方法や回収方法等に違いがあるため差があると考えています。
質問9	広域化後も多量の家庭ごみが出た場合は持ち込み可能か。また料金はいくらか。
質問9への回答	多量の家庭ごみについては、知多南部広域環境センターへ持ち込みいただけます。広域化後の搬入料金につきましては、まだ決定していませんが、搬入量に応じて料金がかかることになる予定です。